

介護職員等処遇改善加算にかかる情報公開

社会福祉法人河内厚生会の介護職員の処遇改善加算の取得状況公開と職場環境改善の取り組みについて紹介しています。

	職場環境要件項目	取り組み
入職促進に向けた取り組み	<p>法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化</p> <p>他産業からの転職者、主婦層、中高齢者等、経験者、有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築</p> <p>職業体験の受け入れや地域行事への参加等による魅力魅力向上</p>	<p>法人の基本理念・倫理規程等の職員周知をしている。</p> <p>無資格者・未経験者の採用や中高年等の採用を行っている。</p> <p>職場体験等の受入を積極的に行っている。</p>
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	介護福祉士の受験資格である実務者研修の受講料を補助する制度を導入している。
両立支援・多様な働き方の推進	有給休暇が取得しやすい環境の整備	フレックスタイム制休暇、誕生日休暇の導入等により取得支援を行っている。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術取得支援、介護ロボットやリフト等による腰痛対策の実施	利用者の睡眠・覚醒・起き上がり離床の見守りケアシステム導入により、介護職員の業務負担軽減を推進している。
	事故・トラブル対応マニュアル等の作成等の体制整備	各種事故防止対策委員会などを定期的実施しマニュアルの見直しや作成を随時行っている。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の低減	介護ソフトを導入し情報の共有化を図り、タブレット端末を活用することで介護職員の業務省力化に取り組んでいる。
	高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務。広報なども含めた介護業務以外の業務提携の提供）等による役割分担の明確化	定年後も高齢者を介護補助員として雇用することで、介護職員の業務負担の軽減を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	施設毎に管理者による会議を定期的開催し介護情報や運営状況の確認を行い、職員への情報共有化や機会提供に努めている。